



『大切にしていきたいこと』

9月は、さいたま市でも最も遅い猛暑日を記録するなど、暑い日が続きましたが、後半になり、急に肌寒さを感じる秋らしい気候になってきました。七里小学校では、運動会に向けて練習や準備を進めているところですが、9月には3年生と4年生の社会科見学がありました。3年生は、さいたま市について学習しており、鉄道博物館と民家園に行きました。4年生は、埼玉県について学習しており、川越市立博物館と東秩父和紙の里に行きました。鉄道のまち大宮や昔の人々の暮らし、埼玉県の歴史や伝統工芸について学んできました。子どもたちは、どの施設でもとても関心をもって、見学や体験をしてきました。職員の方の説明を静かに、そして熱心にメモをとりながら聞いている姿を見て、他の職員の方から「七里小学校の子どもたちは、よく話を聞けて素晴らしいですね」とお褒めの言葉をいただくこともありました。あいさつやお礼の言葉をしっかり言えること、各施設でルールやマナーを守って見学や体験ができたことは、学校での指導や事前学習があつてのことと思いましたが、それだけでなく、普段の御家庭での子育てや地域行事への参加など、保護者の皆様、地域の皆様に大切に育てられてきた子どもたちのよさが大いに発揮されたのだなと強く感じました。現在の学校では、児童生徒一人ひとりの興味関心や発達の状況等を踏まえて、それぞれの個性を伸ばし、資質・能力を高めていくことは重要であり、その実現を目指して教育活動を行っています。個性を伸ばしていくためには、基礎・基本をしっかり身に付けておかないといけないと考えます。自分からあいさつをする、きまりや約束を守って生活をするなど、基礎的・基本的なことを大切に指指導していきます。そして、基礎・基本を身に付けた子どもたちが、自分のよさや自分らしさを見付け、個性を伸ばしていくことができるよう、日々の教育活動を行ってまいります。

『読書の秋』

秋といえば、「読書の秋」でもあります。毎年10月から11月にかけて読書週間があります。この読書週間は、読書推進のために1947年から始まりました。今年で78回目となり、期間は文化の日を中心とした2週間で、10月27日から11月9日です。本校では、10月21日（月）から11月18日（月）までを「七小読書月間」として、図書委員児童による活動や読書チャレンジカードの取組、学校図書館司書や図書ボランティアさんによる読み聞かせ、大宮おはなし箱さんによるおはなし会などを通して、子どもたちの読書意欲を高める取組をしていきます。「家族で20分間読書にチャレンジ」も企画していますので、ぜひお子さんと一緒に本を読んだり、感想をお話したりして、御家庭での読書活動の推進に御協力ください。

保護者の皆様におかれましては、これまで同様、質問や心配なことがありましたら、学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。

10月も保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。